

安全基本方針

IDEC グループは、「人間性尊重経営」を前提として、「企業活動を通じて社会・経済に貢献する」という経営の基本方針に基づき、IDEC グループだけでなくグローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、すべての事業活動において常に高い安全性を実現し、世界で最も安全を追究する企業を目指します。

〈社員の安全〉

IDEC グループは社員の安全と健康の確保を最も重要な課題と捉え、社員との協議と参加のもと、労働災害と健康障害を防止するための活動に積極的に取り組み、安全で健康的な職場環境の維持に努めます。

1. 労働安全衛生に関する法令を遵守し、安全衛生管理体制及び災害防止基準を確立して、自主的、計画的活動を推進します。
2. 職場における危険性又は有害性を調査し、その結果に基づいて社員の危険又は健康障害を防止するための措置を講ずること（リスクアセスメント）に重点的に取り組みます。
3. 社員一人ひとりが個々の能力を十分発揮できるように、心のケアに関する教育研修の実施、相談体制の整備、職場復帰の支援等（メンタルヘルスケア）に重点的に取り組みます。

〈社会の安全〉

IDEC グループは、製品安全への取り組みはもとより、世の中の機械や設備を安全に使用するための製品やソリューションの提供を通して、ものづくりの現場をはじめ社会におけるさまざまな場面での安全確保に貢献します。

1. 安全性を製品における最も重要な性能と捉え、企画、設計段階から製造、販売後に至まで製品安全の向上に努めます。
2. 世の中の機械や設備がより安全に使用されるように、安全対策のための機能を有した制御機器を開発し、製造・販売することで事業による社会貢献に努めます。
3. ものづくり現場だけでなく社会の安全のためにソリューション事業を展開し、安全意識の啓発や安全確保の支援に取り組みます。
4. 社員に対する安全教育を実施するとともに、社内外において安全性の妥当性を評価・確認できる人材（セーフティアセッサ）を育成いたします。
5. 機械や設備、機器の安全規格に関わる標準化活動に国内外を問わず参画し、世の中の機械や設備の安全性を高めるためのルールづくりを推進します。

2018年6月1日 改正

IDEC 株式会社

代表取締役会長兼社長

船木俊之